

国債の決済期間の短縮化に関する検討ワーキング・グループ(第 24 回)

平成 24 年 8 月 3 日(金) 午後 4 時
日本証券業協会 第 1 会議室

議 題

1. 国債のアウトライト取引 T + 2 化の実施状況について
2. その他

以 上

平成 24 年 8 月 3 日

国債のアウトライイト取引 T+2 化後の評価の視点

(ポスト・トレード事務の効率化)

- 全体として、市場共通タイムスケジュールの設定を踏まえつつ、ポスト・トレード事務を円滑に完了させることができているか。
- 出来通知データのフォーマット標準化により、フロント照合事務の効率化・迅速化が図られたか。
- ネットィング照合通知データのフォーマット標準化及び異額面のペイメント・ネットィングの実施方法の標準化により、事務の効率化、資金負担の削減は達成されたか。
- 出来通知データ及びネットィング照合通知データの電子的な授受方法を定めたことで、ポスト・トレード事務の安定化、迅速化につながったか。

(市場取引面への影響)

- 決済期間の短縮化に伴い、市場取引面に支障は生じているか。

(市場参加者への周知)

- 決済期間の短縮化に係る市場参加者への周知、浸透は十分であったか。

(全体的な評価)

- 市場取引面やオペレーショナル・リスクへの影響を適切にコントロールしつつ、流動性リスクや再構築コスト・リスクを削減できたと評価してよいか。

以 上